


仙台市天文台 中期計画（2023－2025 年度）の概要

株式会社仙台天文サービス

ミッション（使命）		
マインド・アイデンティティ （施設理念）	ビヘイビア・アイデンティティ （施設活動）	ビジュアル・アイデンティティ （施設表現）
「宇宙を身近に」します。 ～質の高い天文情報を、身の回りのものごとと関連づけて示し、生きた対話を生み出す～	（天文観測） 市民の「宇宙を観る眼」となる （調査研究） 市民にとっての「宇宙の魅力」を引き出す （教育普及） 市民を「宇宙の世界」へと誘う	

中期計画(2023－2025 年度)		
目的	評価方法	インパクト・マネジメント ・サイクル
仙台市天文台事業の社会的インパクトを可視化することにより、ステークホルダーへの説明責任を果たすとともに、事業改善への示唆を得る。	2023 年度より社会的インパクト評価を導入し、ロジックモデルを用いて計画を策定する。 このロジックモデルでは「宇宙が身近な社会～市民の天文学リテラシーの向上～」を最終アウトカムに設定し、ミッションの強化を重点に事業を展開していくこととする。	以下のサイクルにて本計画を実行し、必要に応じて見直しをはかる。 <u>①計画 (Plan)</u> ロジックモデルの作成。評価指標の検討 <u>②実行(Do)</u> プロセス管理。指標に関するデータ収集 <u>③効果の把握(Assess)</u> データの検証・分析 <u>④報告・活用(Report&Utilize)</u> 分析結果の報告。事業改善に活用

以上

宇宙が身近な社会 ～市民の天文学リテラシーの向上～

